就任のごあいさつ

代表理事組合長
佐　藤　謙　悦

農家と思いをひとつに現場第一

「どんな立場になろうとも農家の気持ちが分かる職員に」。

言葉にすると簡単に聞こえるかもしれませんが、職員にとってこれが最も大切なことだと思っています。組合員との関係をそれぞれの立場で意識して考え育む人と、ただ会いに行く人とでは雲泥の差が生まれます。組合員の気持ちを受け止めた職員から出てくるアイデアは50代でも20代でも未来に生きるものになるものです。そのためにも組合員の声を聞くこと。そして具体的になにができるかを考え、実務で返さないと納得は得られないと思っています。

私自身、農協職員として30年勤めた中で、さまざまな経験をさせていただきました。旅行センター、介護部門、Aコープの立ち上げ経験、販売課長としての販売経験などすべてが肥やしになっています。特に販売部門では、収穫物を営農センターに運んでくる農家のキラキラした顔と会えたことが何よりの宝。組合長になった今、改めて「あの笑顔を守ることが仕事」だと感じています。

経験と感覚を生かす組織を

私も現役農家。そんな現状も生かし、今の厳しい時代を生きる農家の安定収入のモデルケースとなるよう稲作と野菜の周年栽培に妻とふたりで取り組んでいます。稲作の収入はいわば年俸ですが、野菜を出荷し得た収入は日々の出費を賄え、これからを担う若い世代にとっても大きな魅力になることでしょう。そのためにも、夫婦2人の労力でどのくらいできるのかを具体的に示教することを目指しています。ただ言葉で「野菜は収入になるよ」とすすめても、現在抱えている仕事の量や流れを変えることは難しいことです。不安を払拭し具体的にイメージさせてあげることが大切。当JAには「白神ねぎ」「白神キャベツ」などの白神ブランドがあります。これらの出荷を増やし、JAとしても白神ねぎの売上10億円を達成するとともに、組合員の収入向上に努めたい。状況は常に変化しているが現場の思いを大切に、私の経験と感覚を生かすことが役目と考えています。

代表理事組合長の主な略歴

昭和51年４月	能代市農業協同組合 入組
平成16年４月	あきた白神農業協同組合 販売課長兼能代営農センター長
平成18年９月	あきた白神農業協同組合 退職
平成20年６月	あきた白神農業協同組合 理事
平成23年８月	能代青果地方卸売市場 取締役
平成26年６月	あきた白神農業協同組合 代表理事組合長（現任）